

自民党・無所属の会 定例会見

令和3年11月10日



1

会見開催の趣旨

- 「是々非々」
～賛同すべきは賛同し、反対すべきは反対する～
新市長を迎えて自民党・無所属の会の基本スタンス
- 会派の考え方を積極的に発信する必要性を認識
- 市会の会期に合わせて定例会見を実施
- 会派（団）として開催



2

第3回定例会（後半）のポイント① 「令和2年度決算総括」

- 事業執行を評価し承認
 - ◆ 横浜市にとって必要な継続事業、将来成長事業の検討等に必要な事業執行がなされた
- 中長期財政について
 - ◆ 事業の見直し、効率化も必要
 - ◆ 財政見える化ダッシュボードは事業検証のツールとして議会でも注目
 - ◆ データに基づき事務事業を検証することについては同じベクトルで取り組んでいきたい



3

第3回定例会（後半）のポイント② 「山中市長の公約に関して」

- 財政の裏付けが不明確
 - ◆ 新たな劇場整備取りやめによる財源捻出は不適切
 - ◆ 3つのゼロなど事業の持続性の観点から懐疑的意見が出た
 - ◆ 敬老パスについては、これまでICカード化に向けた検討がされてきたが、方向転換するのなら会派としての説明も必要ではないか



4

第3回定例会（前半）のポイント③ 「コロナ対策に関して」

- 現在のコロナ収束の状況を見ると、政府の進めたワクチン接種が効果を発揮した
- 今後の第6波に備えるためにも、医療体制の整備に基礎自治体としても取り組んでいくことと、国がすすめる経口薬の開発に期待

